

## 第2章 本町の目指す将来像

### 2-1 将来像設定の考え方

将来都市像は、本町のまちづくりの上位計画である「川西町第3次総合計画」において定められる「まちの将来像」を踏まえるものとします。

また、「拠点（都市機能の集積拠点）」や「都市軸（都市の骨格、交通ネットワーク）」の整備方向性を示す「将来都市構造」は、長期的な土地利用、都市施設の立地誘導計画である「立地適正化計画」で示される事項と整合を図るものとします。

### 2-2 本町の目指す将来像

前項の考えた方に基づき、以下のように「目指す将来像」を設定するものとします。

#### ○将来像

「安心 すくすく 豊かな心を育む かわにし」

#### ○将来都市構造

将来都市構造は「エリア区分」、「拠点（都市機能の集積拠点）」、及び「都市軸（都市の骨格、交通ネットワーク）」の3要素により構成するものとします。

#### 「エリア区分」の将来像

市街地エリア	市街地エリアでは、用途地域や地区計画など土地利用のルールを定め、計画的なまちづくりを進めます。都市機能を誘導し、集約することにより、日常生活に必要なサービスを持続的に確保できる市街地の形成を進めます。
田園居住 エリア	田園居住エリアでは、無秩序な土地利用を防ぎ、優良な農地や豊かな自然環境の保全と産業の活性化とのバランスを考慮しながら、地域の事情に応じたまちづくりを進めます。自然と農業環境との調和を大切にし、持続可能なコミュニティ及び集落の形成を進めます。

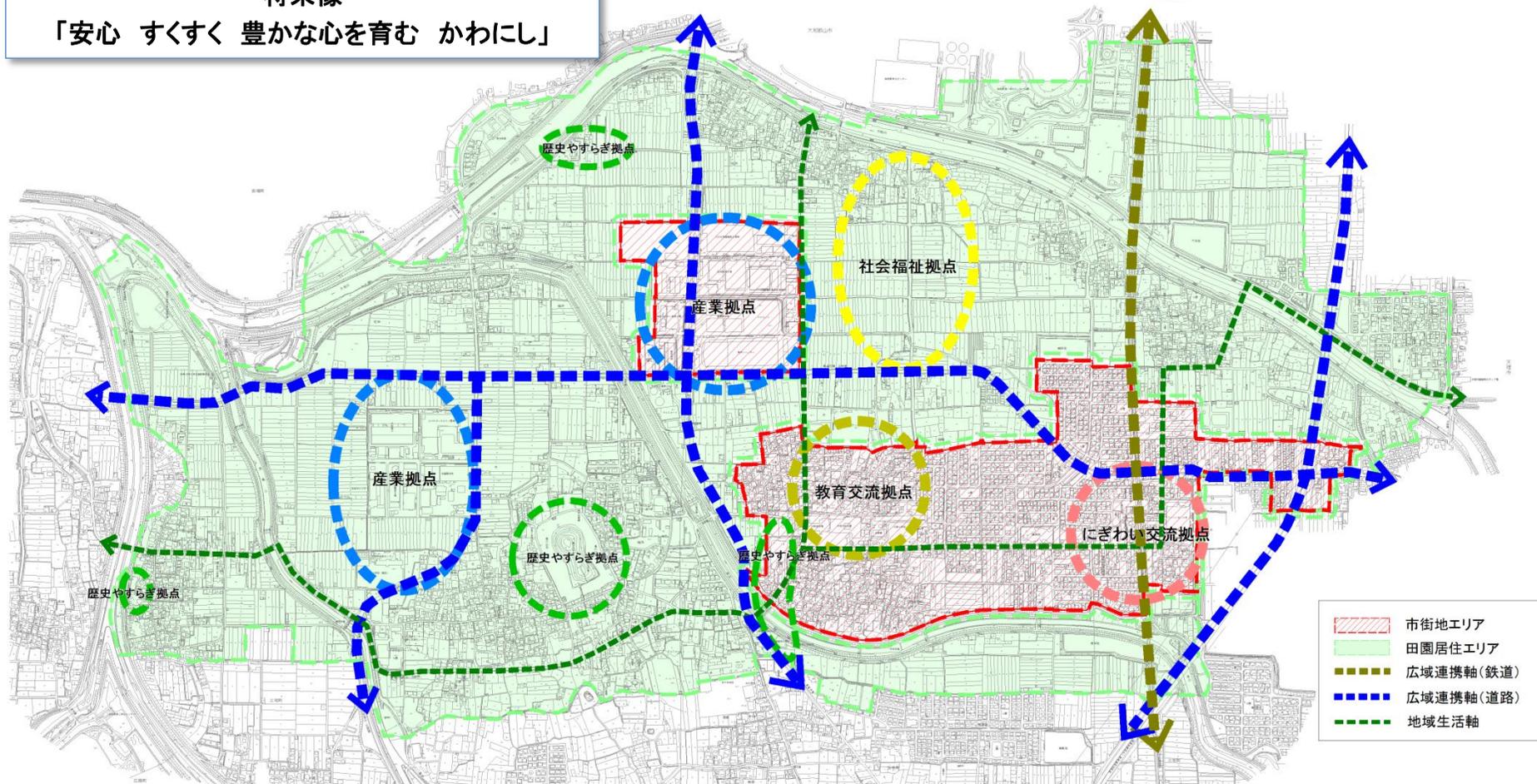
#### 「拠点」の将来像

交流拠点	教育交流拠点	役場を中心とした公共施設、教育施設、文化施設等の集積を維持し、本町の行政サービスと教育文化の拠点としての機能維持及び強化を進めます。
	にぎわい交流拠点	本町の玄関口として、結崎駅周辺地域への交流機能と利便性を高め、商業施設等の誘導を図ります。情報発信ともてなしの空間となる交流施設や情報発信機能の整備を進め、都市機能の充実を進めます。
産業拠点		既存工業団地の維持を図るとともに、新たな活力の創出に向け、周辺の緑地環境や景観に配慮しながら、市街地エリアの拡大を視野に入れた産業系土地利用の推進や必要な基盤インフラ整備を進めるとともに、秩序ある拠点形成を進めます
歴史やすらぎ拠点		島の山古墳をはじめとする歴史資源の保全に努め、歴史及び文化的遺産を伝える場として、生涯学習及び観光振興への活用を進めます。
社会福祉拠点		保育機能をはじめとする新たな社会福祉機能の集積を図り、多様な住民ニーズに対応するため、さらなる社会福祉環境の充実を進めます。

#### 「都市軸」の将来像

広域連携軸	県道天理王寺線、県道大和郡山広陵線、県道結崎田原本線、京奈和自動車道及び近鉄橿原線を軸として、隣接する市町村をはじめとする県内外の主要都市間との広域連携を形成します。
地域生活軸	県道大和郡山広陵線、町道結崎線、町道結崎吐田線、町道結崎下永線を軸として、生活拠点を中心とした地域生活圏の利便性や機能性を確保するため、町内の各拠点や集落間の地域連携を形成します。

将来像  
「安心 すくすく 豊かな心を育む かわにし」



将来都市構造（エリア区分、拠点、都市軸）



本町の目指す将来像